

2020年度（8期）事業報告

2020年4月1日から2021年3月31日まで
公益財団法人みんなの夢をかなえる会

当法人は、平成26年3月14日から公益財団法人として活動をしており、8期目にあたる当期は、事業目的をさらに高いレベルで達成する為、下記のとおり公益事業活動を実施した。

I. 普及啓発事業（公益事業1）

（1）みんなの夢AWARD11の開催

本法人は、2010年から「みんなの夢AWARD」を開催し、定款第3条に定められた目的を更に高いレベルで普及・啓発をする為、夢を持つことの大切さに気づき、夢を持つことのきっかけをつかんだ方の素敵な夢を応援し、「みんな」が素敵な奇跡をおこし、「みんな」が雇用や納税を増やし、「みんな」が地域社会の発展に貢献し、「みんな」が幸せになるよう「みんなの夢AWARD11」を開催した。

「夢を追い、挑戦し、強い意思と明確なビジョン」を有し、その事業活動が、社会問題を解決することにつながり、「地域活性化と成長」及び「現代社会における様々な問題の解決」が両立した持続可能な社会をつくり出す「ビジネスモデル」ならびに「夢追い人」を、「グランプリ」として認定。

「みんなの夢AWARD11」のプレゼンターは、サポート企業から様々な支援を得ることができる仕組みとし、本法人が継続的な実現の支援をおこなっていく。これまでの活動から更に一歩踏み出し、「みんな」が夢を持ち、夢を実現できるように普及と啓発を行い、「みんな」が夢を追いかけ、夢を実現できるように継続的な支援をして能力を開発していく。

【みんなの夢AWARDの選考基準について】

共感性：みんなをワクワクさせ、共感できること

社会性：社会を良くするものであること、SDGsの実現に寄与していること

具体性・計画性：具体的に夢を描き、かなえるための計画をたて、日々前進していること

【概要】

開催日：2021年3月4日（木）

開催場所：ワタミ株式会社8階/ワタミ夢大学（オンラインによるライブ配信）

エントリー者：120名

サポート企業：23社

視聴回数：延べ2326回（YouTube）

■選考スケジュール

1. エントリー2020年9月30日～11月11日

当法人ホームページ専用フォームから広く一般にエントリーを受付けました。

2. 一次選考（書類審査結果発表）2020年11月16日

選考通過人数：20名（うち2名辞退）

投稿された内容を元に、事務局により一次選考通過者を決定し、サイトにて発表しました。

3. 追加エントリー募集2020年11月11日～12月21日

当法人ホームページ専用フォームから広く一般にエントリーを受付けました。

4. 追加一次選考（書類審査結果発表）2020年12月25日

選考通過人数：11名

投稿された内容を元に、事務局により一次選考通過者を決定し、サイトにて発表しました。

5. 2020年12月25日（月）

新型コロナウイルス感染症拡大の防止策として、会場を無観客とし、オンラインによるライブ配信へと変更しました。

6. 二次選考に向けたフォローアップを青木茂雄業務執行理事がオンラインで実施
2020年12月19日参加人数：10名
2021年1月9日参加人数：11名
一次選考通過者に対してプレゼンテーションや資料のブラッシュアップを目的として実施。
7. 二次選考（プレゼンテーション）2021年1月16日
二次選考では、一次選考通過者による7分間のプレゼンテーションをオンラインで実施。
二次選考委員によりファイナリストを決定し、サイトにて発表しました。
（結果発表2021年1月22日）選考通過人数：6名
8. 渡邊美樹代表理事が個別カウンセリングをオンラインで実施
2021年1月27日ファイナリスト：6名
9. ファイナリストフォローアップ講座（プレゼンテーション指導）をオンラインで実施
2021年1月30日・2月17日・3月1日
10. 2020年3月4日最終選考・無観客オンラインによるライブ配信
最終選考では、二次選考を通過したファイナリストによるプレゼンテーションを実施。
最終審査委員により受賞者を決定しました。

■賞について

無観客オンラインによるライブ配信で開催された3月4日の最終選考会においては、全ファイナリストの発表後に審査委員の審査により、「みんなの夢AWARD11」グランプリを決定した。みんなの夢AWARD11グランプリには、『湘南・鎌倉ぶどうの里の実現（鎌倉版CCRC構想）』という夢を語った夏目シンゴ（なつめしんご）さんが選ばれました。

■みんなの夢AWARD11ファイナリストのマッチング実績

当法人は、みんなの夢AWARD終了後、ファイナリストの夢が実現するための支援も行う。定期的にファイナリストと連絡を取り、サポート企業とのコーディネートやファイナリストへのアドバイス等を行い、夢の実現に向けてファイナリストに伴走している。

前述した、みんなの夢AWARD11ファイナリストへの支援企業とのコーディネートを実施している。なお、過去のファイナリストの企業マッチングも継続して実施している。

（2）高校生みんなの夢AWARDの開催

「高校生みんなの夢AWARD」は、定款第3条に定められた目的を、裾野を拡げて更に多くの若者に向けて普及・啓発し、支援・能力開発をする為につくられた、SDGs探求プログラム&AWARDである。SDGs探求プログラムを通じて、全国の高校生が「地域・日本・世界の課題」と「ミッション・ビジョン・戦略」について学び、社会課題を解決する素敵なビジネスプランを生み出して発表。「みんな」をワクワクさせ、「みんな」が夢をもちたくなる素敵な夢に贈られるAWARDである。

「夢を追い、挑戦し、強い意思と明確なビジョン」を有し、その事業活動が、社会問題を解決することにつながり、「地域活性化と成長」及び「現代社会における様々な問題の解決」が両立した持続可能な社会をつくり出す「ビジネスモデル」ならびに「高校生」を、「グランプリ」として認定。

【みんなの夢AWARDの選考基準について】

共感性：みんなが共感できるビジネスプランであるか、プランへの情熱を持っているか

社会性：SDGsの達成など社会をよくするビジネスプランであるか

実現可能性：ビジネスプランの売上高の根拠や戦略があるか

【概要】

開催日：2020年8月12日

開催場所：ワタミ株式会社8階/ワタミ夢大学（オンラインによる開催）

エントリー者：189名

サポート企業：22社

■選考スケジュール

1. エントリーの開始 2019年12月
2. 各所でセミナープログラム開催 2020年1月
3. 新型コロナウイルス感染症拡大の防止の為、延期を決定 2020年3月
4. SDGs 探求プログラムをオンライン学習プログラムに変更することを決定 2020年4月
5. 『ソーシャルビジネス学習プログラム』として名称を改めて公開 2020年5月1日
6. エントリーの追加再受付 2020年5月7日～2020年7月31日
7. 選考通過者へ青木茂雄業務執行理事のフォローアップ動画を配信 2020年8月
8. オンライン開催の為、プレゼンテーション動画の事前撮影 2020年8月11日
9. 高校生みんなの夢AWARDオンライン開催 2020年8月12日

■賞について

無観客オンラインで開催された8月12日の最終選考会においては、全ファイナリストの発表後に審査委員の審査により、「高校生みんなの夢AWARD」グランプリを決定した。高校生みんなの夢AWARDグランプリには、『東日本大震災の学びを未来に生かすスタディツアー』という夢を語った増田伊芙希（ますだいぶき）さんが選ばれました。

受賞した高校生の事業計画や夢に関連する国内外研修旅行については、新型コロナウイルス感染症の状況に鑑みながら、ご本人と調整をして実施予定です。

II. 支援・能力開発事業（公益事業2）

（1）SDGs 探求プログラム（現：ソーシャルビジネス学習プログラム）

「SDGs 探求プログラム」は、定款第3条に定められた目的を、裾野を拡げて更に多くの若者に向けて支援・能力開発をする為につくられた教育プログラムである。PBL（ProblemBasedLearning）は新しい知識を獲得する出発点として問題（シナリオ）を用いる学習方法であり、SDGs をシナリオとする事で社会課題への関心を深めると同時に、探究のための思考プロセスを修得することができる。探究の過程と探究によって身につけた力で、みんなが夢を追いかけて、夢を実現できるように支援し、能力を開発する。

新型コロナウイルス感染症の状況に鑑み、訪問での実施プログラムではなく、オンラインでの学習プログラムという形式に変更して、『ソーシャルビジネス学習プログラム』と名称を新たに無償で公開。

■対象

- ・夢を持ちたい高校生、夢を持たせたいと思っている高校
- ・将来起業を検討している高校生、又は起業を推進したい高校
- ・SDGs に関心がある高校生、又は関心を持たせたい高校
- ・PBL（ProblemBasedLearning）を取り入れたいと考えている校
- ・総合学習の時間を活用したいと考えている高校

■視聴数：延べ2779回

■講義内容

- ・なぜソーシャルビジネスが大事？当法人代表理事渡邊美樹
- ・いま世界にはどんな問題がある？北九州市立大学地域創生学群教授眞鍋和博氏
- ・どうやって勉強したらいいのか？当法人事務局長西田将浩
- ・ビジネスプランのつくりかた！当法人業務執行理事青木茂雄

■実施スケジュール

1. 新型コロナウイルス感染症拡大の防止の為、SDGs 探求プログラムをオンライン学習プログラムに変更することを決定 2020年4月
2. 『ソーシャルビジネス学習プログラム』として無償で公開 2020年5月1日
3. 次年度に向けてのアップデート 2020年8月～2021年3月

Ⅲ. その他

(1) 会費について

当法人の活動の主旨に賛同していただいた方に、みんなの夢をかなえる会のサポーター（会員）になっていただき、下記の区分により会費を頂く。

一般サポーター会費（年額）：一口 6,000 円

法人サポーター会費（年額）：一口 120,000 円

法人内個人サポーター会費（年額）：一口 1,800 円

以上